

世帯数	157世帯
人口	352人
男	163人
女	189人
高齢化率	49.7%
(10月末現在)	



美濃はつらつ通信

美濃地区振興センター・美濃公民館

美濃地町イ140-1 ☎29-0031

多彩な催し3百人楽しむ 「美濃の里ふれあい祭り」

久々の好天に恵まれた11月12日、恒例の「ふれあい祭り」がにぎやかに開催されました。

今年は、集まった人たち全員で平成26年春閉校となった美濃小の校歌などを、竹内美穂さんの伴奏で大合唱。そしていきいきクラブ女性部の銭太鼓演奏やラムネ早飲み競争、重さ当てクイズの当選者発表、マジックショーに加え飛び入り参加の舞踊ショーなど多彩な催しとなりました。



子ども会や地区社協、農産加工センターなど10店が出店しにぎわった会場



奏でオーブニング
中西中吹奏楽部の演



ゲスト出演
の須川太鼓



司会の島田実行委員長

美濃小校歌を大合唱



いきいきクラブ女性部による銭太鼓演奏 有田で発見の石斧里帰り展示 「美濃はつらつ展」で初公開



有田から約70年前に出土した3千~4千年前の石斧。市文化財課の協力でほかに土器11点も併せて展示

手作り工芸などの展示で人気を集める「はつらつ展」が11月3日行われました。

今回注目を集めたのは、昭和25年に有田柿木台から発見された縄文~弥生時代の石斧が収蔵先の比治山大学(広島県)から初めて里帰り。また昭和23年に有田清水から発見された石斧も併せて展示され、地区内外から100人余りが訪れました。



華やかに祭りを彩った有田田植え囃子



地域の人たちのパッチワークや段ボールアート作品に加え、新たに企画された「我が家の宝物」展も人気



あきらめないで筋トレを
もう歳じゃけえと



10月30日に健康相談会が行われ、健康運動指導士の美原愛子さんを講師に、筋肉を鍛える実技「みんなで足腰を鍛えよう！」が行われました。

参加者21人は健康相談のあと、見原さんのユーモアあふれる指導で、イスを利用し筋肉を鍛える運動を行いました。

美原さんは「60歳を過ぎると筋肉が落ち足腰が弱る。普段から筋肉を鍛える運動を継続することが大切」と話しました。



運動後には食推協による食事で腹ごしらえ

女性が活躍する地域は元気

「ときめきの里真砂」の大庭会長講演

自治組織「はつらつ美濃の里」(結い学び部会)が企画した地域づくり講演会が11月5日に21人参加して行われました。

講師は自治組織「ときめきの里真砂」会長の大庭完氏。講演の中で大庭会長は「誰もが安心して楽しく生涯暮らせる地域作りを目指す、という思いを住民全体で共有しながら、地域を元気にしたい一心で取り組んできた」と話しました。

そして公民館を核に活動の中に地域商社と手を組みながら、生活基盤である農業を軸に、保育園に野菜を提供するなどの取り組みを紹介。

地域を元気にするには“とにかくやってみよう”という気持ちが大切と話し、5、6人同じ思いの人が集まれば、何か始められるとアドバイスしました。



考えるばかりでなく前に動けば可能性は広がってくると話す大庭会長

民話の会「石見」が美濃の史跡研修

「民話の会石見」(石川あや子代表)のメンバー10人が、美濃地八幡宮の獅子頭やクロガネモチの木など美濃地区に残る史跡を見学に訪れました。

同会は、今年9月に行われた美濃いきいきクラブの理事会で、出前公演を行ったのをきっかけに、美濃地区の歴史に触れたいと訪れたもの。各地に伝わる民話を収集しながら、それを題材にした民話を語り継ぐ活動を続けています。

会の人たちは、公民館職員のガイドに耳を傾けながら、美濃の里の豊かで深い歴史を感じていました。

一里塚を見学する民話の会の人たち



初の多世代GG大会

ホールインワン6本に歓声

年齢差を越えスポーツを楽しもうと秋晴れの11月5日、美濃いきいきクラブと自治組織「はつらつ美濃の里」共催のグランドゴルフ大会が元美濃小校庭で行われました。

小学生から高齢者まで31人が参加。約2時間、7人ずつの4チームに分かれプレーを楽しみました。

優勝した原隆義さん



お悔やみ

有田上 椋木 波子 様
(10月20日 享年95歳)
有田上 青木 和子 様
(10月29日 享年80歳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

12月の行事予定

3日(日) 中西小・再資源回収 8:00~
10日(日) 公民館運営委員会 15:00~
13日(日) 第3回ふれあい給食 10:00~
27日(水) しめ飾りづくり 10:00~

12月の診療予定日

火曜日	木曜日
5日 神崎内科	7日 村野医院
	14日 澄川クリニック
19日 神崎内科	21日 中島クリニック
	28日 林医院

診療時間 13:30